

自動車業にみる職業奉仕

わたくしの職業でもあります自動車業での行動が職業奉仕に結びつく点が沢山ありました。

私たち自動車業は、地域の安全と移動の自由を守る仕事です。私たち自動車業の仕事は、単なる“車の販売や整備”ではありません。地域の安全を守り、人々の生活を支え、未来の環境を守る。すべてが職業奉仕そのものだと思います。

誠実な整備と販売を通じて事故を防ぎ、交通安全を広め、地域の暮らしを支えることこそ、私たちの基本の行動であり、まずは安全・安心なカーライフの提供をして整備・点検を丁寧に行い、事故を未然に防ぐことは当たり前のことですが、整備士からの視点、クルマに乗った時、の感覚や感じ方で、乗ってる方が気がつかなかったことをアドバイスやご提案をしていき、利益にこだわらないことも奉仕の一つだと思います。また高齢者や初心者に対して、わかりやすい操作の説明や安全運転のアドバイス、冬の山形ならスタッドレスタイヤの適切な選び方や交換時期の啓発をしなければなりません。正直・誠実な販売と整備をし、過剰な営業をしないよう心がけてお客様にあったプランをご提案していきます。整備に関しては故障箇所や費用を的確に説明し、車の状態を正確に伝える。これはロータリーの「四つのテスト」にも直結します。

言行はこれに照らしてから

- 1 真実かどうか
- 2 みんなに公平か
- 3 好意と友情を深めるか
- 4 みんなのためになるかどうか

また地域の交通安全への協力を積極的に行い、小学校や地域団体と連携した交通安全教室や冬道の運転講習会、高齢者の免許返納相談や移動手段の提案をしていき、地域での移動を支えるサポートを考えていかななくてはなりません。また地域イベントのEV車や特殊車両提供をし、特に災害時の車両貸し出しや整備協力、車両の移動をおこないます。環境への配慮としてはエコカーやEVの普及啓発(カーボンニュートラルへの取り組み)。地域の環境活動への参加。整備から出る、廃油や廃タイヤの適切な処理をおこなっていく。これらのことを踏まえてクルマは「人の生活を支える道具また生活に欠かせないアイテム」であり、自動車業は「地域の安全と暮らしを守る専門家」。整備・点検・販売のどれもが「事故を未然に防ぐ」役割を持つ正確な整備、誠実な説明、適切な提案はそのまま地域の命を守る行為だと思います。利益より安全を優先する姿勢が職業奉仕の象徴だからこそ、“安心・安全・誠実・地域貢献”この4つが職業奉仕の核になると思います。

自動車業の仕事は、目立つ奉仕活動ではないかもしれませんが。しかし、日々の業務の中で「安全」「安心」「信頼」を提供し続けることこそ、地域社会に対する最も確かな職業奉仕だと私は思っています。

これからも、ロータリアンとして、そして自動車業に携わる者として、地域の暮らしを支える誇りを胸に、職業奉仕を実践していきたいと思えます。